



「何事にも  
チャレンジして  
いきたい」  
と大井さん

## 天寿酒造株式会社

〒015-0411 秋田県由利本荘市矢島町城内字八森下117番地  
TEL. 0184-55-3165 FAX. 0184-55-3167 <http://www.tenju.co.jp>

2019年インターナショナル・サケ・チャレンジ  
大吟醸金賞を始め多くの受賞歴を持つ



### 共同戦線で海外展開を図る

1830年に創業してから、今年で190年という由緒ある歴史を持つ天寿酒造株式会社は、美味しい米と水から造る基本の酒造りに忠実でありながら、若い杜氏の起用や花酵母の使用など、新しくても良い物は積極的に取り入れる「挑戦する酒蔵」を社風としている。地元で長年愛されてきた酒蔵として、国内外で“秋田の日本酒”のPRにも力を入れていることも特徴的であり、2008年に結成された秋田県清酒輸出促進協議会 (ASPEC※)の活動もその一つだ。

「県内の5つの蔵元が協同し、アメリカにおいて“秋田の酒”のブランド確立を目指しました。商社や卸会社が市場を席卷する中で、独自ルートの開拓は大変な苦勞を伴いましたが、コネクションを活かしつつ、お互いをフォローすることで続けることができています」。

全国の中でも地域グループの先駆けとして“地元の酒”を売り込んだ取り組みは、多方面から高い評価を得ており、現在ではその継続性にも注目が集まっている。

※Akita Sake Promotion and Export Council (天寿、出羽鶴、日の丸、秀よし、銀鱈で結成)

### 変えるもの、変えないもの

失敗を恐れず、新しい取り組みを行う姿勢と大切に築いてきた横の“つながり”。自社銘柄に固執することなく、“秋田ブランド”の確立を見据えた海外展開は、結果的に同社のブランド認知を国内外で底上げする結果となった。土台となっている丁寧な酒造りは、数多のコンテストで優秀な成績を収めており、国内外の主要な受賞成績をポイント化して順位を決める「世界酒蔵ランキング2019」では、同社が全国6位に選ばれた。

「センターには、今でもお世話になっています。昨年はより強固な形で権利を守るため、海外の出願登録で補助金を活用しました。また、以前参加したセミナーで支援していただいた“新人専用日本酒『新人』”が形になったりと、色々な展開も見えてきています。これからも、変えるものと変えないものを見極めながら、新しいことにチャレンジしていきたいですね」。



#### 活用事例

### 外国出願補助金

国際的な事業展開や知的財産権への侵害に対応するために、外国への特許・商標等の出願を支援します。

お問い合わせ 知財・デザイン支援課 TEL.018-860-5614